

経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

岐阜県

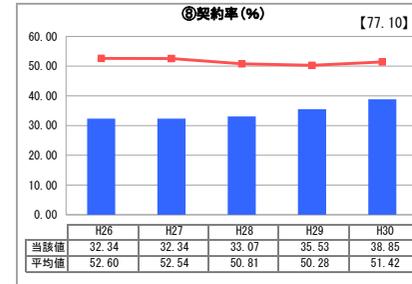
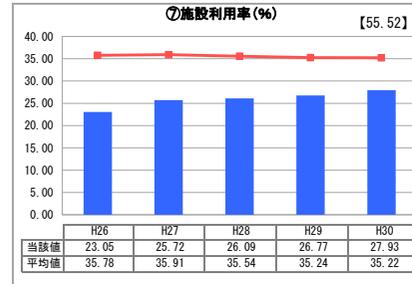
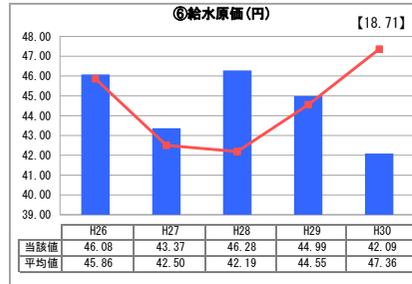
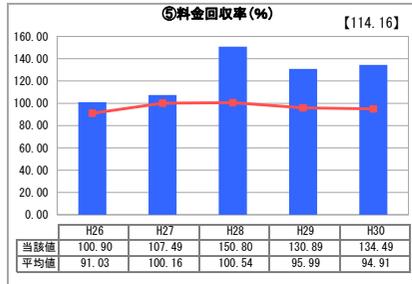
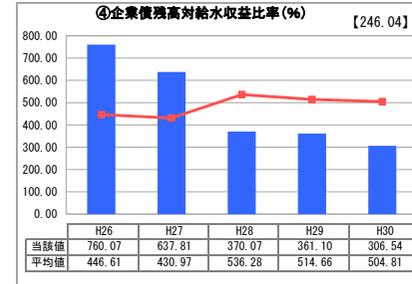
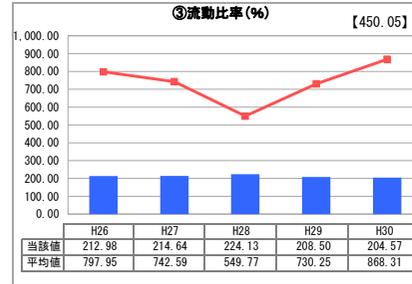
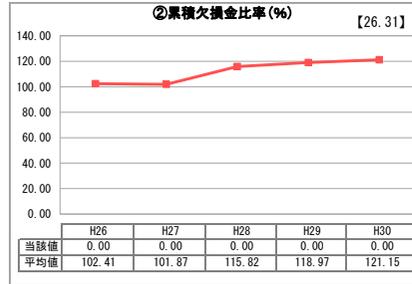
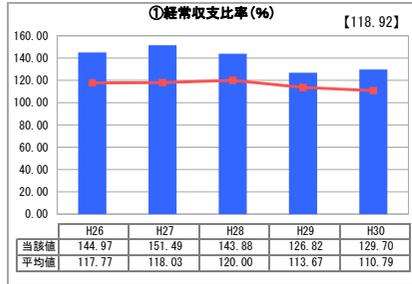
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	9,760	極小規模	1	2,726
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	60.0	12	3,792	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

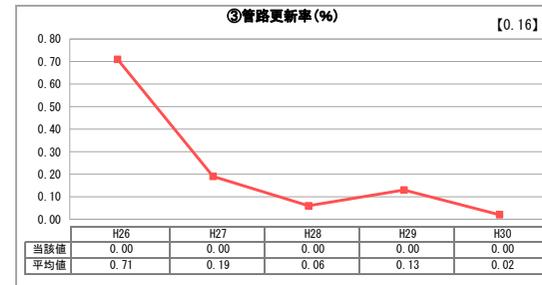
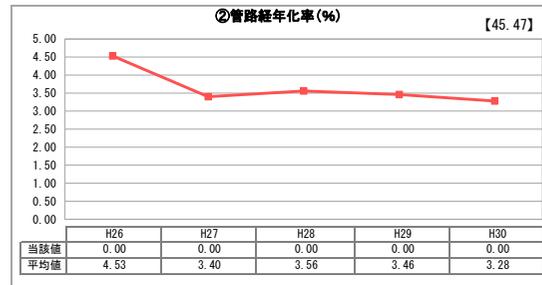
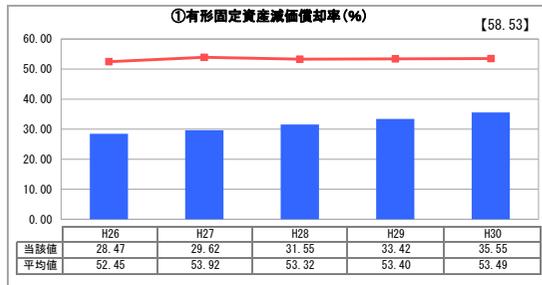
1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
100%を超えており、事業開始以降、黒字を確保しています。
- 累積欠損金比率
累積欠損は発生していません。
- 流動比率
100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力は問題ありません。
- 企業債残高対給水収益比率
平均値と比較して6割程度となっています。自己財源による施設整備・更新を図ることとします。
- 料金回収率
100%を超えており、給水に係る費用が給水収益で賄えています。
- 給水原価
平均値と比較して、5.27円低くなっています。引き続き、維持管理費の削減等に努めていきます。
- 施設利用率
年々上がっていますが、平均値と比べ低い状況となっています。
- 契約率
年々上がっていますが、平均値と比べ低い状況となっています。

2. 老朽化の状況について

平成10年の供給開始から21年目であることから、老朽施設はありません。

2. 老朽化の状況



全体総括

可茂工業用水道事業は現状は黒字経営となっています。平成10年の供給開始から21年目であり、当面は施設の老朽化に伴う大規模更新の予定はありません。将来にわたって安定的な事業継続を図るため「経営戦略」を策定し、計画に基づいて運営していきます。